

あかね台自治会 口座振替 任意募金のご説明と選択シート

■ はじめに（重要なお知らせ）

地域の募金は、「遠いどこかの話」ではなく、実は私たちのすぐそばで使われています。
困った時に助けてもらえる、子どもから高齢の方まで安心して暮らせる——
その下支えになっているのが、これらの募金です。

25/12/6
会長 有馬
副会長 伊東 玉井

- すでに自治会へ募金有無を連絡いただいた方は、本書類の記入は不要です。
- 今回、書面での確認方式に変更したため、お手間をおかけしたことをお詫びいたします。
- ・班長会でいただいたご意見（「紙のほうが確実に伝わる」など）を受け、
ご家庭の意思が正しく伝わるよう書面での確認に切り替えました。
- ・提出は“外したい募金がある方のみ”です。銀行の申込書とセットで封筒にしまい、班長にお渡しください。
- 全ての募金に参加（お支払い）される場合、提出の必要はありません。

| 募金名 | 金額 | 主な使われ方 |
|----------|------|---|
| 赤十字募金 | 500円 | 災害時の救護活動、避難所支援、救急講習、医療支援など。大きな災害のとき「真っ先に動く力」の一部になります。 |
| 社会福祉協議会費 | 300円 | 高齢者の見守り、民生委員の活動、小中学生の福祉体験、地域の相談窓口など。地域の“困った”を受け止める役目です。 |
| 赤い羽根募金 | 300円 | 障がいのある方・高齢者・子ども支援など、地域福祉団体への助成金として役立ちます。私たちの町の団体にも配分されます。 |
| 年末助け合い募金 | 300円 | 年末年始に支援が必要な世帯への援護金や、地域のサロン活動などへ助成。身近な「助け合い」の資金になります。 |

※ 任意募金の合計：1,400円 ※ 自治会費3,600円と合わせて、年間5,000円です。

■ なぜ募金が必要なのか（住民の皆さんへ）

この募金は、「自治会が集めるもの」というより、地域に住む一人ひとりで“少しずつ出し合って支え合う仕組み”です。

- ・大きな災害のとき
- ・身の回りのことで困っている方がいるとき
- ・子どもや高齢者の居場所を守りたいとき
- ・相談できる場が必要なとき

こうした活動は、自治会だけでは支えきれません。募金があることで、”必要な人に必要な支援が届く”という土台が維持されています。強制ではありませんが、「できる範囲で参加してみよう」と思っていただけたら、とても心強く思います。

■ 募金選択欄（※外したい項目のみ✓）

✓ を入れた場合のみ提出してください。✓ がどれも無い場合は提出不要です。

| 募金名 | 金額 | 外す(払わない) |
|----------|------|--------------------------|
| 赤十字募金 | 500円 | <input type="checkbox"/> |
| 社会福祉協議会費 | 300円 | <input type="checkbox"/> |
| 赤い羽根募金 | 300円 | <input type="checkbox"/> |
| 年末助け合い募金 | 300円 | <input type="checkbox"/> |

ご記入者情報 本シートは募金に関する確認のみに使用し、他の目的には利用しません

氏名 _____

住所 _____

地域を安心して暮らせる場所にしていくために、無理のない範囲でのお力添えをいただければ幸いです。